

別表1(第30条関係)

教育課程

授業科目の区分等	欄	授業科目	開講単位	開講年次・配当(単位)				履修方法	卒業要件の単位数
				必修		選択			
				1年	2年	1年	2年		
基礎科目		倫理学	2			2		*必修7科目を含み12単位以上を修得しなければならない。	12
		自然科学入門	2			2			
		文章表現法	2	2					
		敬天愛人・キャリアサポートⅠ	2	2					
		敬天愛人・キャリアサポートⅡ	1			1			
		敬天愛人・キャリアサポートⅢ	1			1			
		敬天愛人・キャリアサポートⅣ	1				1		
		敬天愛人・キャリアサポートⅤ	1				1		
		教育・保育支援体験Ⅰ	1				1		
		教育・保育支援体験Ⅱ	1				1		
		教育問題解説	2				2		
		日本国憲法	2	2					
		情報処理	2	2					
		英語コミュニケーション	2	2					
		基礎体育講義	1	1					
		基礎体育実技	1	1					
		読書と豊かな心	2			2			
	小計	26		12		14			
教科に関する科目		国語(書写含む)	2	2				*小免取得者は、6科目以上(必修2科目を含む)について、それぞれ2単位修得しなければならない。	
		社会	2			2			
		算数	2			2			
		理科	2			2			
		生活	2			2			
		音楽	2			2		*幼免取得者は、4科目以上(必修2科目及び図画工作、音楽「器楽Ⅰ」を含む)について、それぞれ2単位修得しなければならない。	
		音楽(器楽Ⅰ)	2			2			
		音楽(器楽Ⅱ)	2				2		
		図画工作	2			2			
		家庭	2			2			
	体育	2		2					
	小計	22		4		18			
教職に関する科目	第二欄	教師論	2	2				*小・幼免取得者必修。	
	第三欄	教育原理	2	2				*必修3科目を含み6単位以上を修得しなければならない。 *小免取得者は特別	
		教育心理学	2	2					
		保育の心理学	2			2			
		教育制度	2	2					

	保育原理 I	2		2		支援教育を修得しなければならない。
	特別支援教育	2		2		
第四欄	教育・保育課程論	2	2			*小免取得者は、必修3科目と道徳教育の理論と方法、特別活動の理論と方法、生徒指導法を修得することと、6科目以上の教科教育法に関する科目(音楽、図工、体育のうち2科目以上を含む)について、それぞれ2単位を修得しなければならない。 *幼免取得者は、必修3科目と保育内容総論、幼児指導法を修得することと、5科目の保育内容の研究に関する科目(健康、言葉、人間関係、環境、音楽表現)を修得しなければならない。
	国語教育法(書写含む)	2			2	
	社会教育法	2			2	
	算数教育法	2			2	
	理科教育法	2			2	
	生活教育法	2			2	
	音楽教育法	2			2	
	図工教育法	2			2	
	家庭教育法	2			2	
	体育教育法	2			2	
	道徳教育の理論と方法	2		2		
	特別活動の理論と方法	2			2	
	教育方法	2	2			
	保育内容総論	2			2	
	保育内容の研究(健康)	2			2	
	保育内容の研究(言葉)	2			2	
	保育内容の研究(人間関係)	2			2	
	保育内容の研究(環境)	2			2	
保育内容の研究(音楽表現)	2			2		
障害児保育	2			2		
生徒指導法	2			2		
教育相談(カウンセリング含む)	2		2			
幼児指導法	2			2		
第五欄	教育実習 I	1	1			*小・幼免取得者は、3科目6単位を修得しなければならない。
	教育実習 II	1			1	
	教育実習 III	4			4	
第六欄	保育・教職実践演習	2			2	*小・幼免取得者必修。
	小計	68	15		53	
合計		116	31		85	64

別表2—1(第30条関係)

保育士養成課程(必修科目)

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理 I	講義	2		2
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2		2
	児童家庭福祉	講義	2	児童家庭福祉	講義	2		2
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		2
	相談援助	演習	1	相談援助	演習	1		1
	社会的養護	講義	2	社会的養護	講義	2		2
	保育者論	講義	2	教師論	講義	2		2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学 I	講義	2	保育の心理学	講義	2		2
	保育の心理学 II	演習	1	教育心理学	演習	2		2
	子どもの保健 I	講義	4	子どもの保健 I	講義	4		4
	子どもの保健 II	演習	1	子どもの保健 II	演習	1		1
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2		2
	家庭支援論	講義	2	家庭支援論	講義	2		2
保育の内容・方法に関する科目	保育課程論	講義	2	教育・保育課程論	講義	2		2
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2		2
	保育内容演習	演習	5	保育内容の研究(健康)	演習	2		2
				保育内容の研究(言葉)	演習	2		2
				保育内容の研究(人間関係)	演習	2		2
保育内容の研究(環境)				演習	2		2	
				保育内容の研究(音楽表現)	演習	2		2
	乳児保育	演習	2	乳児保育	演習	2		2
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2		2
	社会的養護内容	演習	1	社会的養護内容 I	演習	1		1
	保育相談支援	演習	1	保育相談支援	演習	1		1
保育の表現技術	保育の表現技術	演習	4	図画工作	演習	2		2
				音楽(器楽 I)	演習	2		2
				体育	演習	2		2
保育実習	保育実習 I	実習	4	保育実習 I (保育所)	実習	2		2
				保育実習 I (施設)	実習	2		2
	保育実習指導 I	演習	2	保育実習指導 I (保育所)	演習	1		1
				保育実習指導 I (施設)	演習	1		1
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習	演習	2		2
合計		51 単位				60		60
				60 単位(≧51 単位)				

別表2—2(第30条関係)

保育士養成課程(選択必修科目)

告示別表第2による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備考	
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数				
						必修	選択	計		
保育の本質・目的に関する科目 保育の対象の理解に関する科目 保育の内容・方法に関する科目 保育の表現技術	各指定保育士養成施設において設定		15単位以上	保育原理Ⅱ(指導計画案の作成)	講義		2	2	必修4科目8単位と選択科目から4科目8単位以上合わせて16単位以上修得しなければならない。	
				保育原理Ⅲ(保育所保育指針の解説)	講義		2	2		
				教育相談(カウンセリング含む)	講義	2		2		
				児童文化Ⅰ	講義	2		2		
				児童文化Ⅱ	講義		2	2		
				幼児指導法	講義	2		2		
				社会的養護内容Ⅱ(生活環境等)	講義		2	2		
				社会的養護内容Ⅲ(心身の障がい等)	講義		2	2		
				在宅保育	講義		2	2		
				音楽(器楽Ⅱ)	演習	2		2		
				リミック	演習		2	2		
保育実習	保育実習Ⅱ	実習	2	保育実習Ⅱ(保育所)	実習		2	2	保育実習Ⅱ・保育実習指導Ⅱ又は保育実習Ⅲ・保育実習指導Ⅲのいずれか2科目3単位を選択必修とする。	
	保育実習指導Ⅱ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習		1	1		
	保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅲ(施設)	実習		2	2		
	保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅲ	演習		1	1		
合計			18単位以上				8	20	28	
				28単位(≥18単位)						

別表2—3(第30条関係)

保育士養成課程(基礎科目)

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
教 養 科 目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	倫理学	講義		2	2
				自然科学入門	講義		2	2
				文章表現法	講義	2		2
				敬天愛人・キャリアサポートⅠ	講義	2		2
				敬天愛人・キャリアサポートⅡ	演習		1	1
				敬天愛人・キャリアサポートⅢ	演習		1	1
				敬天愛人・キャリアサポートⅣ	演習		1	1
				敬天愛人・キャリアサポートⅤ	演習		1	1
				教育問題解説	講義		2	2
				日本国憲法	講義	2		2
	情報処理	演習	2		2			
	読書と豊かな心	演習		2	2			
	外国語	演習	2以上	英語コミュニケーション	演習	2		2
体育	講義	1	基礎体育講義	講義	1		1	
	実技	1	基礎体育実技	実技	1		1	
合計		10 単位以上				12	10	22
				24単位(≥10 単位)				

別表3(第30条関係)

学校図書館司書教諭資格課程

授業科目の区分等	科目名	開講単位	開講年次・配当(単位)				備考
			必修		選択		
			1年	2年	1年	2年	
書 教 諭 学 校 図 書 館 司	学校経営と学校図書館	2	2			学校図書館司書教諭資格取得者は、必修5科目10単位を修得することと、小学校教諭二種免許状を取得すること。	
	学校図書館メディアの構成	2	2				
	学習指導と学校図書館	2	2				
	読書と豊かな人間性	2	2				
	情報メディアの活用	2	2				
合計		10	10				

別表4(第34条、第35条関係)

入学検定料及び入学金等

項目	学科	現代子ども学科	備考
入学検定料		30,000 円	
入学金		360,000 円	初年次のみ
授業料		650,000 円	(年額)
施設費		216,000 円	(年額)
教育実習費		40,000 円	初年次のみ
保育実習費		60,000 円	初年次のみ(保育士資格)
教育充実費		30,000 円	初年次のみ

備考

- 1 授業料は、2回〔前期(4月)〕・〔後期(9月)〕分割制とする。
- 2 入学金、施設費、実習費、教育充実費は、指定された期日までに納めること。
- 3 指定の期日までに入学の辞退を申し出た者には、入学検定料、入学金を除く納入金を返還する。